令和三年度仏教学部彙報

◇令和三年度仏教学部開講科目

科目名、必・選区分は平成二十六年度以降入学生、〔 〕は平成二十五年度以前の科目名

【禅学科・仏教学科共通】

○宗教教育科目

《必修》

仏教と人間　熊本　英人
同　吉村　誠

《選択》

坐禅（半期）　佐藤　秀孝・熊本　英人
同　石井　清純・熊本　英人
同　松田　陽志・舘　隆志
文化と宗教　木村　誠司

○専門教育科目

《必修》

仏教学入門　奥野　光賢
同　晴山　俊英
仏教漢文入門　藤井　淳
同　大澤　邦由
同　舘　隆志
同　村上　明也
基礎演習　吉村　誠
同　藤井　淳
同　加納　和雄
同　村上　晶
同　八尾　史
宗典　角田　泰隆　松田　陽志
坐禅Ⅰ　角田　泰隆・舘　隆志
同　晴山　俊英・大澤　邦由
宗教学概論　徳野　崇行
同　矢野　秀武
演習Ⅰ（狂雲集）　飯塚　大展
同（海外の禅受容）　石井　清純
同（正法眼蔵聞解）　岩永　正晴
同（三論玄義）　奥野　光賢
同（インド思想史・文化史）　金沢　篤
同（インド仏教・インド思想）　木村　誠司
同（近現代の曹洞宗）　熊本　英人
同（中世曹洞宗伝記史料）　佐藤　秀孝
同（正法眼蔵）　角田　泰隆
同（楞伽師資記）　程　正
同（曹洞宗の戒律・清規）　晴山　俊英
同（弁顕密二教論）　藤井　淳
同（偏正五位説）　松田　陽志
同（禅美術・仏教美術）　村松　哲文
同（大唐大慈恩寺三蔵法師伝）　吉村　誠
同（中観思想）　四津谷孝道
同（楞厳経）　大澤　邦由
同（サンスクリット語仏典）　加納　和雄
同（民俗宗教論）　徳野　崇行
同（維摩経文疏）　山口　弘江（休講）
同（宝慶記）　舘　隆志
同（宗教社会学）　村上　晶
同（一乗仏性究竟論）　村上　明也
同（根本説一切有部律）　八尾　史
演習Ⅱ（演習Ⅰに準ず）

《選択必修》

インド仏教史　加納　和雄
中国仏教史　吉村　誠
日本仏教史　飯塚　大展
中国禅宗史　程　正
日本禅宗史　佐藤　秀孝
東南アジア仏教史　古山　健一
チベット仏教史　四津谷孝道
韓国仏教史　佐藤　厚

パーリ語初級	矢島　道彦
サンスクリット語初級	金沢　篤
チベット語初級	四津谷孝道
漢文講読Ⅰ	小川　隆
宗教史	村上　晶
仏教美術史	村松　哲文
インド哲学史	金沢　篤
中国哲学史	野村　英登
宗教学研究	村上　晶
仏教美術研究	羅　翠恂
漢文講読Ⅱ	吉村　誠
英文仏書講読	木村　誠司
《選択》	
仏教文化史	加納　和雄
禅文化史	大澤　邦由
インド仏教思想史	金沢　篤
中国仏教思想史	休　講
日本仏教思想史	藤井　淳
日用経典	奥野　光賢
禅美術	村松　哲文
禅心理学	加藤　博己
仏教文献学	飯塚　大展
仏教民俗学	徳野　崇行
仏教と社会	熊本　英人
原始仏教	八尾　史
浄土学概論	休講（隔年）
真宗学概論	前田　壽雄
真言学概論	休講（隔年）
日蓮教学概論	三輪　是法
神道概説	休講（隔年）
新宗教概説	加藤　之晴
キリスト教概論	土居　由美
イスラム教概論	矢口　直英
哲学概説	滝沢　正之
宗教哲学	河谷　淳
パーリ語上級	矢島　道彦
サンスクリット語上級	金沢　篤
チベット語上級	四津谷孝道
法式実習	角田　泰隆
漢詩作法	堀川　貴司
書道	綾部　宏行
宗教教育	永井　俊道
青少年問題研究	讃岐真佐子
宗教法概説	村上　興匡
禅学特講ⅠA	休　講
禅学特講ⅡB	休　講
禅学特講ⅢA	休　講
禅学特講ⅣB	休　講
仏教特講ⅠA	武井　謙悟
仏教特講ⅡB	武井　謙悟
仏教特講ⅢA	休　講
仏教特講ⅣB	休　講
坐禅Ⅱ	岩永　正晴・徳野　崇行
仏教学セミナー	程　正
同	大澤　邦由
同	徳野　崇行
同	村上　明也
同	八尾　史

【禅学科】

《必修》	
禅思想概説	石井　清純
《選択必修》	
禅学研究A（仏教語・禅語解説）	松田　陽志
禅学研究B（仏典・禅籍解説）	岩永　正晴
禅学研究C（仏教・禅教団論）	佐藤　秀孝
禅籍講読Ⅰ（中国初期禅宗文献）	程　正
禅籍講読Ⅱ（弁道法）	晴山　俊英
禅籍講読Ⅲ（義雲和尚語録）	石井　清純

《選択》

仏教研究A（仏教語・禅語解説）加納　和雄
仏教研究B（仏典・禅籍解説）奥野　光賢
仏教研究C（仏教・禅教団論）八尾　史
仏典講読Ⅰ（大智度論）　藤井　淳
仏典講読Ⅱ（天台四教儀）　村上　明也
仏典講読Ⅲ（絵巻物・御伽草子・仮名草子等）飯塚　大展

【仏教学科】

《必修》

仏教思想概説　四津谷孝道

《選択必修》

＊【禅学科】《選択》に同じ

《選択》

＊【禅学科】《選択必修》に同じ

◇教員消息

▽藤井淳准教授は、令和三年四月一日をもって教授に就任した。

▽大澤邦由講師は、令和三年四月一日をもって准教授に就任した。

▽村上晶氏は、令和三年四月一日をもって専任講師に就任した。

▽村上明也氏は、令和三年四月一日をもって専任講師に就任した。

▽金沢篤教授は、令和四年三月三一日をもって定年退職し、同年五年一二日をもって名誉教授となられた。

◇教員出版書目

▽角田泰隆（著）『道元『正法眼蔵』をよむ 下（NHKシリーズ NHK宗教の時間）』NHK出版、二〇二一年九月

▽NHK出版（編）、村松哲文（共著）『アイドルと旅する仏像の世界（NHK趣味どきっ！）』NHK出版、二〇二一年九月

▽NHK出版（編）、村松哲文（共著）『アイドルと巡る仏像の世界（NHK趣味どきっ！）』NHK出版、二〇二二年三月

◇駒澤大学仏教学会消息

（1）定例研究会

▽令和三年六月二一日（月）

「『弁道話』の成立について」
大学院博士後期課程　菅野　優子

「道元禅師の引用典籍の再分析―鏡島宗学の展開に向けての試問―」
仏教学部教授　石井　清純

▽令和三年七月一九日（月）

「観音菩薩の居処の変遷―Potalakaから光明山、海岸孤絶処へ―」
大学院博士後期課程　陳　怡安

「聖徳太子は『海東の菩薩天子』たらんとしたか―『憲法十七条』と『勝鬘経義疏』の共通部分を手がかりとして―」
駒澤大学名誉教授　石井　公成

▽令和三年一一月二二日（月）

「『摩訶止観』の成立下限年時について」
仏教学部専任講師　村上　明也

「宗教研究の新たな試み―Folk, Popular, Vernacular そして Lived という視座をめぐって―」
仏教学部専任講師　村上　晶

▽令和三年一二月一三日（月）

「Parinirvana 考―ギルギット本『法華経』「如来寿量品」を中心に―」
大学院博士後期課程　李　暎実

「明末万暦期における仏教中興の一側

面—雪浪洪恩の生涯と思想についての研究と展望—」
仏教学部准教授　大澤　邦由
「空海『聾瞽指帰』撰述の意図—氏族と時代背景からの考察—」
仏教学部教授　藤井　淳